

第3学年 理科探求B・C【化学】 授業計画表 (普通科・文系・選択 2【1】単位 2【1】コマ)

年間目標	1. 物質の性質とその変化を原子レベルで理解する。 2. 物質量の関係を量的関係によって理解する。 3. 問題演習によって基礎基本の学力を身に付け、大学入試に対応できるようにする。	使用教材	教科書：化学基礎 新訂版（実教出版） 図 説：四訂版 サイエンスビュー 化学総合資料（実教出版） 問題集：大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎（数研出版）
期	I 期（中間考査まで／4月～5月）	II 期（期末考査まで／5月～7月）	
学習目標・学習内容	[学習目標] 1. 物質には純物質と混合物があり、蒸留等の実験操作により混合物から純物質が得られることを理解する。 2. 物質を構成する原子は原子核と電子からなることを学習し、原子の化学的性質は電子配置で決まり、原子間の結合にも電子が関与していることを理解する。 3. 身の回りの物質が原子・分子・イオンから成り立っており、それらが結合することで我々の目に見える大きさの物質になることを理解する。 [学習内容] 第1編 物質の構成 1章 物質の探究 2章 物質の構造と元素の周期表 3章 化学結合	[学習目標] 1. 物質を構成している原子や分子の質量の目安として、原子量・分子量などの相対量を用い、粒子数の単位には「物質量（モル）」を用いることを理解する。また、「物質量」を用いて、化学反応の量的関係について理解する。酸と塩基の反応は、水素イオンのやりとりで説明でき、水溶液の酸性・塩基性の程度を水素イオン濃度で表せることを理解する。 [学習内容] 第1編 物質の構成 3章 化学結合 第2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 2章 酸と塩基	
到達目標	チェック <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 身の回りの物質を混合物と純物質に分類できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 純物質をさらに単体と化合物に分類できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 原子番号20番までの電子配置をボーアモデルで書ける。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 貴ガス以外の原子は、貴ガスと同じ電子配置になろうとして分子やイオンを形成することを電子式を用いて説明できる。	チェック <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> イオン結合・共有結合・金属結合について説明できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 相対質量から原子量を求めることができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 物質量（モル）が個数であることを理解する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 化学反応式から量的関係について求めることができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 酸・塩基とはどのようなものか説明できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 酸・塩基の強弱を数値で説明できる。	
評価材料	・小テスト、実験レポート等 ・前期中間考査	・小テスト、実験レポート等 ・前期期末考査	
備考			

第3学年

理科探求B・C【化学】

授業計画表

(普通科・文系・選択 2【1】単位 2【1】コマ)

年間目標	1. 物質の性質とその変化を原子レベルで理解する。 2. 物質量の関係を量的関係によって理解する。 3. 問題演習によって基礎基本の学力を身に付け、大学入試に対応できるようにする。	使用教材	教科書：化学基礎 新訂版（実教出版） 図説：四訂版 サイエンスビュー 化学総合資料（実教出版） 問題集：大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎（数研出版）
期	Ⅲ期（中間考査Ⅰ／8月～10月、中間考査Ⅱ／10月～12月）	Ⅳ期（学年末考査まで／12月～3月）	
学習目標・学習内容	[学習目標] 1. 中和反応によって酸・塩基から塩と水ができることが量的関係から求められるようにする。 2. 燃焼・金属の溶解・電池や電気分解などの多くの反応では電子のやりとりが重要な役割を果たしており、これらを酸化還元反応と呼ぶことを理解する。 [学習内容] 第2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 2章 酸と塩基 3章 酸化還元反応	[学習目標] 大学入学共通テスト対応直前問題演習	
到達目標	チェック <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中和反応によって生じた塩の性質を説明できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 酸と塩基の中和反応による量的関係が求められている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 酸化と還元の定義を理解する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 酸化数を求められる。	チェック <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 問題演習を通して基礎学力を定着する。	
評価材料	・小テスト、実験レポート等 ・後期中間①考査 ・後期中間②考査		
備考			